

ファミリー部門 最優秀賞 <sup>まさき</sup>正木 <sup>みちこ</sup>美智子さん（兵庫県）

エコライフメッセージ

「熱帯夜 母が優しく うちわ風」

メッセージにまつわる活動内容

「扇風機やクーラーの風は体に良くないから」と母は私が小さい頃よくうちわであおいで寝かせてくれました。うちわ風って涼しい風と温かい心が届きます。

横で添い寝をしてあおいでくれるのですがいつの間にか風力が弱まるのでおかしいなと思うと母の方が先にウトウトしているんです。お疲れの所悪いなあと思いながら腕をつつくと風力は回復します。

今二児の母となった私も子ども達につつかれながら夏の夜を過ごしています。いつまでこうして寝てくれるかしら…と思いながら。

ファミリー部門 優秀賞 <sup>こばやし</sup> 小林 いずみさん（北海道）

エコライフメッセージ

「キャンドルの光で… 冬の夜限定 eco time！」

メッセージにまつわる活動内容

寒い冬の夜、アイスクャンドル作りをしています。バケツに水を入れて 1 晩外に置くと出来上がる簡単な工程ですが、その日の気温によってバカラのガラスと見紛う出来ばえだったり自然が織り成す色々な表情にバケツから外すたびワクワクしてしまいます。

それを玄関先に並べて夜、キャンドルに明りを灯すと、真白に積った雪に透きとおった氷の質感と温みのある光が広がり、家族や通りを人の帰りも照らし、ほっとする時間もつくり出してくれます。この季節、外灯はつけずアイスクャンドルの明りだけで過ごす、ちょっとメルヘンな eco time! しばれる北海道ならではの。

ファミリー部門 優秀賞 <sup>すぎさわ</sup>杉澤 <sup>のぼる</sup>登さん（神奈川県）

エコライフメッセージ（20 文字程度）

「下からほんわかコルクマット」

メッセージにまつわる活動内容（250 文字程度）

我が家は、木造住宅築約 30 年の家です。そのため、冬になると厚さ 5 ミリ強の木 1 枚の床から寒さが伝わるため、暖房を強めにする毎日でした。エアコンの温度は、24 度位に設定し、かつ石油ストーブを使わないと、寒くて大変でした。

でも、今年は、冬の暖房を減らすための策として、床にコルクマットを敷きつめることを思いつきました。30cm 四方のコルクマットを床全てに敷くと、足下から暖かいのです。エアコンの温度は 22 度位で、石油ストーブは要らなくなりました。

我が家にとっては、画期的な省エネ策で、快適です。だから「下からほんわかコルクマット」です。皆さんにもお勧めします。